

磐田市子ども読書活動推進計画
(第2次計画)
成果と評価

平成23年度～平成27年度

平成28年5月

磐田市教育委員会

〈目次〉

施策の方向性

1. 家庭における子どもの読書活動の推進	2
(1) 保護者への啓発の促進	2
(2) 関係課・機関、民間団体との連携	3
2. 地域における子どもの読書活動の推進	3
(1) 市立図書館の整備・充実	3
(2) 幼稚園・保育園・こども園・その他関係機関における 読書活動推進機能・事業の充実	5
(3) 地域の公共施設における子どもの読書活動	5
(4) 地域における子どもの読書活動の推進のための取組	6
3. 学校における子どもの読書活動の推進	6
(1) 学校における子どもの読書活動の推進のための取組	6
(2) 学校図書館等の機能の強化	8
4. 図書館の連携による子どもの読書活動の推進	9
(1) 公立図書館の連携	9
(2) 学校図書館と市立図書館の連携	10
5. 啓発・広報等の推進	11
(1) 情報の収集・提供の充実	11
(2) 読書週間及び「子ども読書の日」等における啓発・広報の推進	13

推進・支援体制の整備等

1. 市における推進・支援体制の整備	15
2. 書店との連携	15
3. 報道機関との連携	15
4. 施策の実施に向けて	15

重点的取組及び数値目標達成状況	16
-----------------	----

平成 23 年度策定「磐田市子ども読書活動推進計画」における施策の方向の成果と評価について

1. 家庭における子どもの読書活動の推進

(1) 保護者への啓発の推進

ア 保護者が集まる機会での啓発

- ・市立図書館では、学校や子育て関連施設などの保護者が集まる場に職員を派遣し、子どもの読書や読み聞かせ、読書を通じた「親子の時間」の確保など、その重要性を保護者に呼びかけました。
- ・市立図書館では、子育て中の保護者を対象とした「子どもと読書講演会」と「茶の間ひととき読書講演会」を毎年各 1 回開催し、子どもの読書活動への意識が高まるよう啓発しました。
- ・市民活動推進課では、平成 23 年度から平成 27 年度の 5 年間で、「家庭教育学級」で 2 回、「家庭教育出前講演会」で 14 回、本をテーマにした講演を実施し、読書活動の推進を図りました。

イ おはなし会等を通じての啓発

- ・市立図書館では、おはなし会を定期開催し啓発を進めています。未就学児向けのおはなし会は少人数ながらも毎回新しい参加者がありますが、小学生の参加が少ないことが課題と捉えています。図書館だよりと市広報を通じた広報活動と、ブックスタート事業参加者や来館者への声かけも行い参加者を募っています。今後もこれまで以上に認知度を高める工夫を検討していきます。

ウ 読書を通じた親子の時間を持つことの奨励

- ・子育て支援課、健康増進課、市立図書館の連携により、離乳食教室と共に実施しているブックスタート事業では、参加できなかった保護者を対象とするフォローアップ事業に取り組み、参加率の向上につながりました。親子のふれあいや結びつきを強める一つの提案として、親子で共に絵本やわらべうたに親しめるよう事業展開しました。
- ・小学校と市立図書館の連携により、「茶の間ひととき読書運動」を進め、3 年生児童とその保護者に、家庭での読書の大切さや読書時間の確保を訴え、意識の向上に努めました。
- ・0 歳児向けおはなし会等では、親子が一緒にわらべうたや絵本を楽しむことで、読書を通じた「親子の時間」の確保を家庭に呼びかけました。

エ 子どもの読書に関する情報提供による啓発

- ・市立図書館では、子どもの成長に合わせた年齢ごとの本のリストを作成し、ブックスタート事業での配布と学校を通じて小学校 1 年生・3 年生・5 年生への配布により啓発に努めました。
- ・市立図書館では、児童書の紹介を目的とした「こどもとしょかんだより（小学生向）」と「リブネット（中高生向）」を季刊で作成し、子どもの読書に関する情報提供に努めました。
- ・市民活動推進課では、「家庭教育講座・妊娠期編」や家庭教育学級長会等で、市立図書館発行の冊子を配布し、読書活動の重要性についての啓発を図るとともに、本選びの参考としてもらうよう呼びかけました。

オ 本と人を結びつける人材の育成

- ・市立図書館では、「こどもと読書」に対する情報収集と職員の能力向上を目指し、研修会等に職員を派遣し、子どもの成長に合った本の選定や読書相談に対応できる人材の育成を

図ると共に、絵本講座や子育て支援センターでの講話の場を活用した啓発を行いました。

- ・市立図書館では、「読み聞かせボランティア養成講座」を毎年開催し、地域や幼稚園・保育園・こども園・小学校・中学校で、読み聞かせを通じて「読書の楽しさ」を子どもたちに伝える人材の育成を進めました。
- ・ボランティアとしての定着や組織化など、実際の活動につなげるための支援が課題と捉えています。今後は、養成講座に加え、継続的に学び情報収集できる場を設けていきたいと考えます。

(2) 関係課・機関、民間団体等との連携

ア 公共施設における読書環境の整備

- ・市立図書館では、交流センターへの団体貸出し、子育て支援センターでのおはなし会、交流センターでの講話などを行い、図書館だけでなく地域の施設と連携し、誰もが身近に本と関わることができる環境の整備に努めました。

イ 情報の共有化

- ・市民活動推進課では、「家庭教育講座・妊娠期編」や家庭教育学級長会等で、市立図書館発行の冊子を配布し、読書活動の重要性についての啓発に努めました。
- ・市内の子どもと読書に関わる団体（文庫・おはなし会グループ等）とは、図書館事業を通じて積極的に交流を図り、「子どもと読書」についての情報共有を進めました。各団体の活動内容や実情の把握、団体間の連携づくりなどが今後の課題と考えます。

2. 地域における子どもの読書活動の推進

(1) 市立図書館の整備・充実

① 図書館資料

ア 児童図書資料 <児童図書資料の整備・充実>

(目標項目) 市立図書館の12歳以下の子ども1人あたりの蔵書冊数(各年度末現在の数値)

- ・様々な年代の子どもたちに対応できるよう幅広い資料の収集に努めた結果、目標数値を達成できました。

22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	目標数値
11冊	12.3冊	12.6冊	12.9冊	13.4冊	13.6冊	13冊

※県の実績(平成25年度)は、8.2冊

イ ヤングアダルトサービスの充実 <中学・高校生への図書館サービス>

- ・中高生向けの図書を幅広い分野から選書し、ヤングアダルトコーナーの充実に努めました。
- ・市立図書館の全館にヤングアダルト担当者を置き、中高生向けのおすすめ本や新刊本を紹介する「リブネット」を発行し、市内の中学校と高等学校に配布すると共に、図書館ホームページでも公表し、中高生の利用促進に努めました。
- ・市内高等学校との連携では、情報交換の場を設けると共に、新たな取組みとして読書週間に合わせた協働事業を実施し、利用促進に努めました。

②図書館における子どもの読書環境の整備

ア ブックスタートの普及

- ・子育て支援課・健康増進課との連携に加え、各種施設にもチラシを配布し、ブックスタート事業をPRし参加を呼びかけると共に、参加できなかった対象者向けにフォローアップ企画「ブックスタートの会」を実施し、参加率の増加に努めました。

イ 講座・行事の充実

- ・おはなし会やおたのしみ会などの事業では、季節に合わせた本の紹介を行いました。また、読書週間には図書館を訪れる機会を増やすため、職員が選書した本をおたのしみ袋として貸出す啓発事業を行いました。

ウ 団体貸出の充実

- ・小、中学校への茶の間読書用図書の貸出しや学級文庫用図書の貸出しを行いました。また、幼稚園・保育園・放課後児童クラブなどへも貸出しを行い、団体貸出冊数も増加しています。

エ 障がい児へのサービス

- ・点字絵本の制作等により、可能な範囲で障がいのある子どもたちの資料の充実に努めました。また、希望に応じて、特別支援学級への学級文庫貸出や支援学校への団体貸出を行いました。

オ 本の紹介リストの作成

- ・子ども向けおすすめ本のリストを随時見直し、改訂版を発行しました。また、保護者からは読み聞かせに向く図書リストを望む声もあることから、今後の検討課題とします。

カ 施設に出向くサービス

- ・幼稚園・保育園や小学校からの希望に応じ施設へ出向き、おはなし会やブックトークなどを行いました。
- ・交流センターや子育て支援センターと連携し、絵本講座を実施しました。
- ・豊岡図書館では、図書館から離れた地区の小学校へ移動図書館として出向き、本に親しむ機会を増やしました。

キ 児童の特集コーナーの設置

- ・「こどもとしゃかんだより」に掲載した本を特集コーナーに配置し、貸出の機会をつくりました。
- ・季節や行事に合わせた展示を各図書館で企画実施しました。

(目標項目) 図書館の児童図書の年間貸出冊数 (12歳以下の子ども1人あたり)

22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	目標冊数
25冊	26.2冊	26.2冊	25.7冊	26冊	27.8冊	27冊以上

※県の実績(平成25年度)は、17.9冊

③ 専門的職員の養成・配置 <職員の充実>

- ・可能な範囲で既存事業の見直し等の効率化を図り、職員配置の充実に努めました。
- ・各種の研修や講座に積極的に職員を派遣し、知識と技術の習得に努めました。
- ・市立図書館全館が統一した児童サービスを提供するため、各館の情報や意見を交換する会議を定期的実施し、平準化に努めました。

◇在住外国人の子どもへの支援 <在住外国人の利用促進>

- ・可能な範囲で資料の収集と提供に努めました。今後は図書目録の作成をはじめとして、望まれる資料がどのようなものであるか情報収集を進めたいと考えます。

(2) 幼稚園・保育園・こども園・その他関係機関における読書活動推進機能・事業の充実

①幼稚園・保育園・こども園における子どもの読書活動

◇保育の中で行っていること

ア 幼稚園・保育園・こども園の図書の整備充実

- ・成長に応じた絵本や、気に入った絵本の場所が分かりやすいよう、絵本をジャンル別、年齢別のコーナーで整備しました。
- ・絵本コーナーでは、自分の好きな絵本を見たり、友達と思いを伝え合ったりしながら楽しい時間を過ごしています。
- ・市立図書館職員による読み聞かせは、園児・職員共に新しい絵本に出合うことのできる良い機会となっています。
- ・保育者による読み聞かせでは、絵本のストーリーや絵などに心を動かし、おもしろい、楽しい、かわいそう、どうなるのかな?など、いろいろな思いを感じることで、感性や言葉を豊かにするきっかけとなっています。

イ 職員等の研修の充実

- ・保育者を研修会に派遣し、読み聞かせの大切さや絵本の知識、子どもの成長に合わせた絵本を選択する力などの向上に努めています。

②読書推進のための家庭啓発

◇啓発活動の推進

- ・絵本の貸出しや参観会での読み聞かせなどで、絵本の魅力が実感できるよう、また絵本を通して親子が触れ合う時間が増えるよう啓発しました。
- ・園だよりや園内の掲示、講演会等で、絵本の読み聞かせの大切さについて啓発しました。
- ・園の進める啓発活動により、図書館の利用や読み聞かせをする保護者の増加や、子どもの成長にあった絵本選びに関心を示す保護者の増加など、変化が見られました。

(3) 地域の公共施設における子どもの読書活動

ア 地域の公共施設の子どもの読書関連事業の実施

- ・児童館や子育て支援センターでは、図書コーナーを設置し、図書の貸出しを行いました。また、本を読むことや読みきかせの大切さについての講話を行ったり、職員による読み聞かせを行いました。

イ 図書館と地域の公共施設との連携について

- ・市立図書館は、交流センターや放課後児童クラブと連携して公共施設における読書活動の支援に努めました。また、要請に応じて各施設に出向き、おはなし会や講話を行い、絵本の楽しさや読み聞かせの意義を伝える事業に取り組みました。
- ・市立図書館では、交流センター17施設に団体貸出しを実施しました。また、交流センターの要望に応じて図書の入替えを行いました。

ウ 障がいのある子どもの読書活動の支援

- ・視覚障がいのある子どもの来館や利用問い合わせがあった際には、市立図書館や県視覚障害者情報支援センターのサービスを紹介し、読書活動の支援に努めました。
- ・点訳と音訳のボランティア勉強会を定期的に開催し、専門技能の向上を図りました。

(4) 地域における子どもの読書活動の推進のための取組

ア 読書ボランティアの養成

- ・市立図書館では、学校やサークル等を通じ、読書に関わるボランティアの活動実態の把握に努めました。ボランティアの協力体制づくりは引き続き課題となっています。
- ・市立図書館では、「読み聞かせボランティア養成講座」を毎年実施し、地域で活動する読み聞かせボランティアの養成に取り組みました。スキルアップ講座の開催には至りませんでした。県主催の講座への参加を呼びかけるなど、ボランティアの人材育成に努めました。

イ 広報活動による情報提供の充実

- ・市立図書館では、子ども文庫、読み聞かせボランティアなど地域で活動する団体に、図書館が行っているサービスや読み聞かせに向く絵本の紹介などの情報提供を行いました。今後も様々な機会を活かし、積極的に情報提供をしていく必要があります。

3. 学校*における子どもの読書活動の推進

(1) 学校における子どもの読書活動の推進のための取組

①学校内の協力体制の確立

ア 学校内の協力体制の確立

- ・校内では、校内研修等を通じて教職員全体の共通理解を図っています。学校図書館を活用した学習については、まだ十分とはいえないため、学校司書との連携や校内研修での啓発をおして推進していくことが必要です。
- ・学校組織で取り組む体制づくりにおいては、学校ごとに実情が異なるため差があり、特に中学校での体制づくりが難しい状況です。

イ 年間指導計画等の作成

- ・学校図書館活用授業年間計画の作成 小学校 10校 中学校 3校（作成済み）
- ・読書指導年間計画の作成 小学校 13校 中学校 4校（作成済み）

* 学校数：市立小学校 22校 市立中学校 10校

②読書活動及び学校図書館を活用した学習活動の充実

ア 朝読書、読み聞かせ等全校で取り組む読書活動の実施

- ・朝読書は、小学校 100%、中学校 100%での実施率です。読み聞かせは小学校 95.7%、中学校 80%の実施率となっています。

イ 1か月の目標読書冊数の設定

- ・児童生徒の1か月の平均読書冊数は、小学校低学年 16.66冊、中学年 12.38冊、高学年 4.73冊、中学生 3.11冊で目標を上回りました。

ウ 推薦図書や必読図書の選定

- ・必読図書及び推薦図書を選定している学校 小学校 21校 中学校 5校
- ・小中一貫教育の取組の一つとして、発達段階を踏まえた「学府100選」を選定し、9年間を見通した読書推進に取り組んでいる小中学校があります。

エ 学校図書館を活用した学習の推進

- ・「各教科・領域等の授業で、学校図書館を活用している」と回答した学校
小学校 22校 中学校 7校

各校への学校図書館年間指導計画の作成を促し、各教科等での学校図書館の有効活用を今後も継続して推進していきます。

③家庭・地域との連携

ア 図書館職員、ボランティアとの連携

- ・保護者及び地域の方による読み聞かせの実施率
小学校 100% (H23 100%) 中学校 70% (H23 60%)
- ・市立図書館との連携 小学校 100% 中学校 40%
(授業で使用する本や資料、学級文庫の団体貸出を主とする。)

イ 読書習慣確立のための家庭読書の推奨

- ・全国学力・学習状況調査の結果の公表に伴い、保護者向け「学力向上リーフレット」を配付し、全国学力・学習状況調査の結果と学習・生活習慣との相関関係で読書との関係に触れ、「家庭で一緒に新聞や本を読む時間の設定」について呼び掛けをしました。

ウ 学校だよりや学年だより等をとおして親子読書の勧め

- ・「茶の間ひととき読書運動」として、小学校3年生が様々な親子読書に取り組みました。

④障がいのある子どもの読書活動の推進

◇障がいの状態に応じた読書活動の体験

- ・ソーシャルスキルトレーニングとして、絵本を効果的に使い、表情と気持ちとの関連や、気持ちの変化について考えさせた授業を行いました。
- ・「ことば絵本」を使って、語彙を増やす指導を行いました。

⑤在住外国人の子どもの読書活動の推進

- ・家庭や児童生徒の実態に応じ、親子のコミュニケーションや日本語の習得を目的として、一緒に絵本を読むことを紹介しました。

- ・外国人保護者へは、基本的な生活習慣・家庭学習・持ち物等について説明するなど、日本の学校への理解や協力依頼が優先され、読書活動の啓発にまで至れない状況です。

(2) 学校図書館等の機能の強化

①学校図書館の資料・設備の充実

ア 魅力的な図書資料等の計画的な整備・充実

- ・各教科領域等の授業で活用できる図書を購入し、学校図書館活用や読書活動の推進を図ってきました。一方、調べ学習の資料の整備については十分ではなく、学校間で差があります。図書の廃棄や更新、計画的な購入による図書標準の達成に努める必要があります。

イ 施設・設備の整備・充実

- ・読書及び学習スペースの整備・充実は、学校間で差がありますが、職員作業で行ったり学校司書と相談しながら計画的に進めた学校もありました。

ウ 学校図書館の情報化

- ・全校で蔵書のデータベース化ができています。
- ・名簿等の個人情報の取扱い管理について、周知徹底を図りました。
- ・情報セキュリティの強化に伴い、インターネット利用が困難となったことが課題です。

エ 学校間、市立図書館との連携による図書資料等の有効活用

- ・毎年6月に「学校及び図書館連絡会」を開催しています。
- ・学校と市立図書館との仲介を学校司書が担うことで、図書資料の有効活用につなげました。

②学校図書館の活性化のための人的配置の推進

ア 司書教諭の発令促進

- ・平成27年度全小中学校において司書教諭の発令がされています。
全小学校 22校（11学級以下4校） 全中学校 10校（11学級以下2校）

イ 司書教諭の校務分掌等の配慮

- ・司書教諭が職責を果たせるよう、授業時間の軽減を1～3時間程度配慮しています。

ウ いわゆる学校司書の全校配置の促進

- ・平成27年度においては、学校司書6名（嘱託職員3名、臨時職員3名）が全小中学校を巡回訪問し、学校図書館や読書活動推進の支援を行いました。今後も、一層の学校図書館の活性化及び読書活動の推進に向け、学校司書の配置が必要です。

学校における子どもの読書活動の推進 《努力目標》結果

目標項目	平成 22 年度実績		平成 27 年度目標		平成 27 年度実績		備考
朝読書 実施校の割合	小学校	95.7%	小学校	100%	小学校	100%	
	中学校	100%	中学校	100%	中学校	100%	
読み聞かせ 実施校の割合	小学校	95.7%	小学校	100%	小学校	95.5%	
	中学校	60%	中学校	100%	中学校	80%	
1 か月 目標読書冊数	小学校	8 冊	小学校	- 冊 低 8 冊 中 6 冊 高 4 冊	小学校	- 冊 低 16.6 冊 中 11.6 冊 高 4.8 冊	読書冊数のみならず、幅広いジャンルの本にふれることや、じっくりと読む読書活動に移行しつつあります。
	中学校	3 冊	中学校	3 冊	中学校	4.3 冊	
図書標準 達成校の割合	小学校	30%	小学校	60%	小学校	68.2%	傷んだ図書や内容が古い図書等の更新が優先されますが、継続して取組みます。
	中学校	10%	中学校	30%	中学校	10.0%	
司書教諭 配置校の割合	小学校	78%	小学校	100%	小学校	100%	
	中学校	100%	中学校	100%	中学校	100%	
学校司書 配置校の割合	小学校	100%	小学校	100%	小学校	100%	H27 嘱託 3 人、臨時 3 人が全校に巡回
	中学校	100%	中学校	100%	中学校	100%	

4. 図書館の連携による子どもの読書活動の推進

(1) 公立図書館の連携

ア 図書館のネットワーク化の推進

- ・ 県横断検索システムのネットワークの一部を担い、平成 27 年度からは県立中央図書館の個人貸出窓口としての業務も開始しました。これにより地域の子どもたちがより多くの資料を利用できることを期待します。
- ・ 中東遠地区広域（磐田市、御前崎市、掛川市、菊川市、袋井市、森町）の市町図書館相互利用を行なうことで、より多くの資料を地域の子どもたちに提供しました。

イ レファレンスサービスの充実

- ・ 県立中央図書館及び県内市町図書館との相互貸借業務などにおいて関係機関と連携協力をし、レファレンスサービスの充実に努めました。

(2) 学校図書館と市立図書館の連携

ア 市立図書館の利用指導

- ・市立図書館と学校の連携によりブックトークや図書館ガイダンスを実施し、調べ学習や図書館の活用方法について指導を行うと共に、校外学習で市立図書館を訪れた子どもたちへの指導も行いました。
- ・平成 20 年度より小学校新一年生全員を対象に利用者カードの交付を開始しました。併せて、ブックリスト「読んで！読んで！！初級編」と「こどもりようあんない」を配布し、子どもの読書環境整備を図っています。
- ・市内の中学校・高校・大学・専門学校の新一年生を対象に利用案内を配布しています。

イ 調べ学習への協力

- ・学校の年間学習計画を図書館で把握できるよう「テーマ別貸出記録」を図書館ごとに作成し、調べ学習のテーマに応じたレファレンスサービスと資料提供に努めました。また、その記録をもとに資料が有効活用されるよう調整しながら団体貸出を行いました。今後、把握したものを利用し、資料購入計画にも反映させていきたいと考えます。
- ・学校司書リーダーと市立図書館が協力し、教科書で推奨されている並行読書のための資料整備に取り組んでいます。
- ・学校図書館活用授業年間計画及び読書指導年間計画の作成については、学校によって差があり、市立図書館へ計画を示すことは難しい状況でした。必要な資料については、その都度学校司書をとおして市立図書館に問い合わせ、団体貸出で資料提供を依頼しました。

ウ 団体貸出の利用

- ・図書館の市内の小・中学校、幼稚園、保育園、こども園（数字は交流センター・民間施設も含む）などへの協力団体貸出数は下記の通り推移しています。

団体貸出点数「磐田市の図書館」より

(冊)

館名	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
中央図書館	29,963	36,258	37,013	20,963	25,147
福田図書館	7,041	7,194	6,578	6,275	6,548
竜洋図書館	8,639	10,827	10,381	10,558	12,205
豊田図書館	12,745	14,182	15,691	14,430	12,370
豊岡図書館	1,210	1,301	1,654	2,476	2,538
計	59,598	69,762	71,317	54,702	58,808

- ・茶の間ひととき読書運動では、市立図書館から小学校全校に団体貸出を行い、毎年約 5 千冊を貸出しています。

エ 研修の充実

- ・学校図書館担当職員（学校司書リーダー・図書支援員等）には、各種研修会の情報提供を行い参加を促し育成に努めています。学校で活動するボランティアには、市立図書館主催の「読み聞かせボランティア育成講座」の情報を提供し養成に努めました。
- ・学校司書（嘱託職員：司書リーダー）を、県主催の研修会等へ積極的に派遣し、専門的知識及び技能の向上を図りました。

オ 市立図書館の司書の派遣

- ・学校からの依頼で図書館職員が小・中学校に出向き、ブックトークや読み聞かせを実施しました。また、図書館の利用方法について説明しました。

カ 定期的な連絡会等の実施

- ・毎年 6 月に「学校及び図書館連絡会」を開催し、市内全小・中学校の担当及び、学校司書、市立図書館職員で情報交換の場を設けています。
また、竜洋図書館では、幼稚園・保育園職員も交えた連絡会を毎年開催しています。

キ 学校図書館支援センター設置の検討

- ・現在設置に向けて検討中です。

ク 中学・高校図書館との新たな連携事業

- ・中学生年代への読書活動の働きかけとして、平成 27 年に市内中学校の生徒によるビブリオバトルが中央図書館を会場に開催されました。
- ・市内高校との連携により、高校生のお薦め本を紹介する啓発企画を読書週間に開催しました。
- ・市内県立高校 4 校と図書館とのコラボレーションで地域住民を対象とした「磐田ハイスクール講座」を平成 25 年から中央図書館等を会場に開催しています。図書館を窓口にした広報活動と参加者募集を行い、高校はそれぞれの特色を生かした講座を展開しました。地域に密着した図書館との協働事業として、学校活動を知るきっかけ作りの場となっています。

5. 啓発・広報等の推進

(1) 情報の収集・提供の充実

ア ホームページや広報紙による情報提供

- ・市立図書館ではホームページを活用し、情報の提供に努めています。
また、ホームページのアクセス数は下記の通り推移しています。

年間アクセス件数 「磐田市の図書館」より

年 度	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年
件 数	137,433	128,194	143,841	134,530	143,264	154,101

- ・市立図書館では、広報紙「図書館だより」を毎月 1,500 部発行し、市内公共施設・幼保園等で配布しています。また、「こどもとしょかんだより」を季刊で発行し、市内全小学生に配布しています。
- ・福田図書館が約 10 年前から発行している中学生・高校生向けの広報紙「リブネット」を平成 27 年秋から市内全館に配置し、中学校・高等学校への配布を開始しました。
- ・「図書館だより」「こどもとしょかんだより」「リブネット」を市立図書館ホームページへ掲載しました。
- ・市立図書館ホームページでは、英語・中国語・ポルトガル語の利用案内を提供しています。
- ・市立図書館では、「いわたホットライン」を使用して各種イベント情報を提供したり、子育て情報誌「わわわ」及び子育て情報サイトに市立図書館の情報を掲載しました。また「広報いわた」に子どもの成長と読書に関する特集記事を載せ（平成 24 年 11 月号）、平成 27 年度からは毎月、子育て中の保護者に薦める本の特集「いっしょに読もっ！」を掲載し、読書推進につながる情報を広く市民に提供しました。

- ・メール機能やwebサイトを利用した「いわたホッとライン」、「アストモ」等でリアルタイムな情報の提供に努めました。

イ 学校・図書館、地域活動団体を通じての情報提供

- ・図書館では、学校等を通じて保護者等に子どもの読書活動に関する情報を提供しました。

館名	内容
中央図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・市内小学校3年生へ「茶の間おすすめリスト」「茶の間新聞」を年1回配布 ・施設見学等で来館した際に資料を配布
福田図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度秋号まで「ふくでとしょかんだより」を季刊で発行し、地区内の幼稚園に配布
竜洋図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度から平成26年度まで「竜洋としょかんつうしん」を季刊で発行し、地区内へ回覧
豊田図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度に図書館サービスの案内を地区内の幼稚園・保育園へ配布
豊岡図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度に地区内の小学校へ新刊を紹介したポスターを作成し、学期ごとに持参し、校内に掲示を依頼（模造紙で低中高学年向け各2冊）

ウ ブックリストの作成

ブックリスト	対象／配布先
あかちゃんとのしむえほん 0歳から (平成17年4月作成)	ブックスタートの参加者
子どもと楽しむえほん 2才から楽しめる60冊のえほん (平成18年8月作成)	4月に3歳から5歳の全園児 豊岡図書館は2歳8か月児フッ素塗布教室でも配布 (平成23年度までは全館2歳8か月児相談において配布)
読んで！読んで！！ 小学生向け＜初級編＞ 6さいからたのしめる60さつのほん (平成24年4月改訂)	4月に小学校1年生全児童
読んで！読んで！！ 小学生向け＜中級編＞ 8才から楽しめる45さつの本 (平成24年4月改訂)	4月に小学校3年生全児童
読んで！読んで！！ 小学生向け＜上級編＞ 10才から楽しめる40冊の本 (平成25年4月作成)	平成25年度は、4月に小学校5・6年生全児童 平成26年度から4月に小学校5年生全児童

(2) 読書週間及び「子ども読書の日」等における啓発・広報の推進

◇ 読書週間及び「子ども読書の日」(4月23日)を通じた啓発・広報

- ・「こどもの読書週間」(4/23～5/12)「秋の読書週間」(10/27～11/9)を通じて、図書館では下記の通り啓発・広報を実施しました。

・行事一覧

館名	平成23年度 春	平成23年度 秋
中央図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生版「本とともだち」の本の展示 ・小学生用ブックリスト「読んで！読んで！！」の本の展示 	<ul style="list-style-type: none"> ・「読んであげたい！世界のむかしばなし」をテーマにした展示
福田図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生版「本とともだち」の掲示 ・図書館クイズ 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ふくでとしょかんだより」秋号に掲載本の展示 ・おはなし会
竜洋図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生版・中学生版「本とともだち」の本の展示 	<ul style="list-style-type: none"> ・「読んで！読んで！！」初級編・中級編の本の展示
豊田図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生版・中学生版「本とともだち」の本の展示 ・「児童書ベストリーダー」の展示 	<ul style="list-style-type: none"> ・「冒険しよう、おはなしの世界へ」をテーマにした展示
豊岡図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生版「本とともだち」の本の展示 ・クイズとお絵かき(小学生以下) 	<ul style="list-style-type: none"> ・読書週間ポスターを独自に作成 ・ハロウィン(10月末まで)昔話(11月)の本の紹介

館名	平成24年度 春	平成24年度 秋
中央図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・「子どもと楽しむえほん」の本の展示 	天井耐震工事のため中止
福田図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・「読んで！読んで！！」初級編の本の展示 	<ul style="list-style-type: none"> ・ストーリーテリングおはなし会
竜洋図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・「春 あたらしい芽 そだててみよう！」をテーマにした展示 ・ベストリーダー本の展示 	<ul style="list-style-type: none"> ・「読んでみよう！世界のむかし話」をテーマにした展示
豊田図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・「読んで！読んで！！」中級編の本の展示 ・「ベストリーダー」の展示 	<ul style="list-style-type: none"> ・「読んで！読んで！！」中級編の本の展示
豊岡図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・「グリム誕生200年記念」をテーマにした展示 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ホントノキズナ」をテーマにした展示

館名	平成25年度 春	平成25年度 秋
中央図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・「読んで！読んで！！」上級編の本の展示 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ぐりとぐら生誕50周年展」をテーマにした展示 ・「よんでみよう科学の本」をテーマにした展示
福田図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・「本と出会う春」をテーマにした展示 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ぐりとぐら生誕50周年記念」をテーマにした展示 ・秋のストーリーテリングおはなし会

竜洋図書館	・「こどもと楽しむえほん」「読んで！読んで！！」初級・中級・上級編の本展示	・「新美南吉の本を読んでみよう」をテーマにした展示
豊田図書館	・「ベストリーダー」の展示	・「ぐりとぐら誕生 50 周年展」をテーマにした展示
豊岡図書館	・「1・2年生におすすめの本」をテーマにした展示	・「秋だっかがくえほん」をテーマにした展示

館名	平成 26 年度 春	平成 26 年度 秋
中央図書館	・「はじめてであう絵本」をテーマにした展示	・おたのしみ袋 ・「こどもたちに読んでほしい本」の展示 ・斎藤惇夫氏講演会「子どもの成長と絵本」
福田図書館	・「本と出あう春」をテーマにした展示	・秋のストーリーテリング会 ・おたのしみ袋
竜洋図書館	・「かがくやちしきのえほんをよんでみよう」をテーマにした展示	・おたのしみ袋 ・おたのしみ会「おはなしのせかいであそぼう」
豊田図書館	・「平成 25 年度ベストリーダー」の展示	耐震工事のため中止
豊岡図書館	・「この本もう読んだ？」をテーマにした展示	・「読んで 読んで！昔話」をテーマにした展示 ・「読んで 読んで！ファンタジー」をテーマにした展示

館名	平成 27 年度 春	平成 27 年度 秋
中央図書館	・「読んで！読んで！！」初級・中級・上級の本の展示	・おたのしみ袋 ・「こどもたちに読んでほしい本」の展示 ・脇明子氏講演会「読む力が未来をひらく」
福田図書館	・「読んで！読んで！！」小学生向けの本の展示 ・「かがくとちしきのえほん」をテーマにした展示	・おたのしみ袋 ・ストーリーテリング会 ・「くまのプーさん」「くまのパディントン」「くまのテディ・ロビンソン」をテーマにした展示
竜洋図書館	・「今江祥智さんの本や絵本を読んでみよう」をテーマにした展示	・おたのしみ袋 ・「職員おすすめの本」をコメントとともに展示
豊田図書館	・「こども読書週間」の展示	・おたのしみ袋
豊岡図書館	・「さあ、子供と一緒に絵本の世界へ」をテーマにした展示 ・「3, 4年生におすすめの本」をテーマにした展示	・おたのしみ袋

推進・支援体制の整備等

1. 市における推進・支援体制の整備

◇ 関係機関の連携・推進計画の評価と見直し

- ・平成19年より毎年1回、「学校及び図書館連絡会」を開催し、学校代表、図書館、学校司書リーダー等が集まり、実績報告や意見交換などを行っています。
- ・毎年度、計画の評価と見直しを行うため、計画作成に携わった関連機関が連携し「重点的取組と実績」を作成し、計画の推進を図りました。

2. 書店との連携

◇ 書店との協働

- ・書店や出版社などから講演会や出版情報を得て、書籍購入や市立図書館主催の講演会の企画立案の参考とし、読書推進につなげています。
- ・書店員が主に選定した「本屋大賞」による企画展を開催しました。

3. 報道機関との連携

◇ 市記者クラブへの情報提供

- ・広報広聴課を通じて報道機関へ取材依頼を実施しました。
- ・情報提供を進める中で、子どもの読書活動に関わるイベント（ストーリーテリングの会、おたのしみ袋など）の情報が報道されました。

4. 施策の実施に向けて

- ・本計画に掲げられた各種施策を実施するため、関係各部署において推進しました。

行政機関

- ・総務部自治振興課
- ・市民部市民活動推進課
- ・健康福祉部健康増進課
- ・こども部子育て支援課
- ・こども部幼稚園保育園課
- ・教育部教育総務課
- ・教育部学校教育課

市立図書館（5館）

- ・中央図書館 福田図書館 竜洋図書館 豊田図書館 豊岡図書館

- ・保育園 子育て支援施設 35 施設
- ・幼稚園施設 22 施設
- ・小学校 22 校
- ・中学校 10 校
- ・交流センター 22 施設

重点的取組及び数値目標達成状況

目 標 項 目	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	目標数値
図書館児童図書の蔵書冊数 (12歳以下の 子ども1人あたり)	11冊	12.3冊	12.6冊	12.9冊	13.4冊	13.6冊	13冊以上
図書館児童図書の年間貸出 冊数 (12歳以下の 子ども1人あたり)	25冊	26.2冊	26.2冊	25.7冊	26冊	27.8冊	27冊以上
「子ども読書の日」(4月23 日)・秋の読書週間(10月 27日～11月9日)に読書啓 発に取り組んだ市立図書館	60%	100%	90%	100%	90%	100%	100%
ブックスタートの参加率	79.8%	79.4%	81.0%	83.5%	80.3%	79.1%	80.00%
子ども向け講座・行事等の 参加者数(大人を除く)	5,879人	7,567人	5,768人	6,598人	6,913人	6,179人	3,500人
(年間)	-	11,290人	9,233人	10,242人	10,636人	10,029人	6,800人

目 標 項 目	平成 22 年度実績		平成 27 年度目標		平成 27 年度実績		備 考
朝読書 実施校の割合	小学校	95.7%	小学校	100%	小学校	100%	始業時刻の変更があり、週間予定の調整や見直しが必要となり、今後検討が必要です。
	中学校	100%	中学校	100%	中学校	100%	
読み聞かせ 実施校の割合	小学校	95.7%	小学校	100%	小学校	95.5%	
	中学校	60%	中学校	100%	中学校	80%	
1 か月目標読書冊数	小学校	8冊	小学校	低8冊 中6冊 高4冊	小学校	低16.6冊 中11.6冊 高4.8冊	
	中学校	3冊	中学校	3冊	中学校	4.3冊	
図書標準達成校の割合	小学校	30%	小学校	60%	小学校	68.2%	傷んだ図書や内容が古い図書等の更新が優先されますが、継続して取り組めます。
	中学校	10%	中学校	30%	中学校	10.0%	
司書教諭配置校の割合	小学校	78%	小学校	100%	小学校	100%	
	中学校	100%	中学校	100%	中学校	100%	
学校司書配置校の割合	小学校	100%	小学校	100%	小学校	100%	嘱託等で全校配置
	中学校	100%	中学校	100%	中学校	100%	

*市内 市立小学校 22校 市立中学校 10校